

2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月7日

上場会社名 株式会社エムティーアイ 上場取引所 東
コード番号 9438 URL https://ir.mti.co.jp
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前多 俊宏
問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 松本 博 (TEL) 03-5333-6323
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け(オンデマンド配信))
(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績(2023年10月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	6,625	△6.6	435	—	792	—	630	—
2023年9月期第1四半期	7,091	8.2	△61	—	△88	—	△590	—

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 621百万円(—%) 2023年9月期第1四半期 △639百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	11.49	—
2023年9月期第1四半期	△10.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	27,937	17,621	49.9
2023年9月期	29,155	17,583	47.9

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 13,937百万円 2023年9月期 13,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	△4.6	600	—	1,000	434.4	700	—	12.76
通期	27,000	0.8	1,000	235.1	1,400	205.4	800	6.2	14.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期1Q	61,264,600株	2023年9月期	61,264,600株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	6,405,973株	2023年9月期	6,405,973株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期1Q	54,858,627株	2023年9月期1Q	54,810,804株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

証券アナリスト・機関投資家向けの当第1四半期決算説明会説明は、オンデマンド配信の形式で行います。動画および説明会資料は、2024年2月8日(木)15時以降に当社IRサイトへ掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2024年9月期 第1四半期の概況 (2023年10月1日～2023年12月31日)

当社グループは、中長期的な企業価値の向上を図るべく、今後の業績拡大が期待できるヘルスケア事業および学校DX事業に積極的に取り組んでいます。

売上高については、前年同期に連結子会社の株式会社ビデオマーケットにおいてスポット計上した動画販売の反動があり、6,625百万円(前年同期比6.6%減)と減収となりました。

売上総利益については、前年同期に同社においてスポット計上した動画仕入の反動があるとともに、法人向けDX支援事業の赤字案件が収束したことにより売上原価が大幅に減少した結果、4,836百万円(同6.2%増)と増益となりました。

営業利益については、売上総利益の増益に加えて、人件費や外注費の減少を主因とする販売費及び一般管理費(販管費)の抑制により、435百万円(前年同期は61百万円の損失)と増益となりました。

経常利益については、営業利益の増益に加えて、持分法適用関連会社の株式会社昭文社ホールディングスにおいて特別利益(固定資産売却益)を計上したことを主因に持分法による投資利益409百万円(前年同期は持分法による投資損失34百万円)を計上したことにより、792百万円(前年同期は88百万円の損失)と大幅増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、経常利益の増益に加えて、前年同期に連結子会社の母子モ株式会社の株式を連結子会社の株式会社エムティーアイ・ヘルスケア・ホールディングスに一部株式譲渡したことに伴い、その株式譲渡益に対する法人税関連の連結決算上の処理において現行の会計基準に照らし合わせ繰延税金資産および法人税等調整額の計上を見送りましたが、この要因がなくなったこともあり、630百万円(前年同期は590百万円の損失)と大幅増益となりました。

連結業績(2023年10月1日～2023年12月31日)

	2024年9月期 第1四半期	2023年9月期 第1四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	6,625	7,091	△465	△6.6
売上原価	1,788	2,538	△750	△29.6
売上総利益	4,836	4,552	+284	+6.2
販管費	4,401	4,613	△212	△4.6
営業利益(△は損失)	435	△61	+496	—
経常利益(△は損失)	792	△88	+881	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益(△は損失)	630	△590	+1,220	—

販管費内訳(2023年10月1日～2023年12月31日)

	2024年9月期 第1四半期	2023年9月期 第1四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
販管費総額	4,401	4,613	△212	△4.6
広告宣伝費	626	479	+147	+30.8
人件費	1,818	1,989	△170	△8.6
支払手数料	709	746	△37	△5.0
外注費	441	560	△119	△21.3
減価償却費	318	289	+28	+10.0
その他	486	549	△62	△11.4

セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。

① コンテンツ事業

コンテンツ事業には、BtoC型の月額課金サービス（女性向けヘルスケアサービス『ルナルナ』と医師相談サービス『カラダメディカ』は除く）のほか、BtoB型のコミック配信事業者向けにオリジナルコミック作品を提供するオリジナルコミック事業等が属しています。

同事業の有料会員数は309万人（2023年9月末比4万人減）となりました。セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数拡大が続いているため、有料会員数はほぼ横ばいで推移しています。

売上高については、前年同期に連結子会社の株式会社ビデオマーケットにおいてスポット計上した動画販売の反動があり、4,210百万円（前年同期比17.7%減）となりました。

営業利益については、『AdGuard』の入会促進に伴う広告宣伝費が増加したことにより、1,091百万円（同24.1%減）となりました。

② ヘルスケア事業

ヘルスケア事業には、『ルナルナ』および『カラダメディカ』のBtoC型の月額課金サービスのほか、各医療機関や自治体向けに展開しているBtoB型およびBtoBtoC型のヘルスケアサービス（クラウド薬歴、母子手帳アプリ、子育てDX等）が属しています。

同事業の月額有料会員数は54万人（2023年9月末比1万人減）となりました。また、調剤薬局での導入意欲が高いクラウド薬歴の導入店舗数の拡大に注力した結果、2023年12月末の同店舗数は1,923（2023年9月末比130増）となりました。

売上高は、クラウド薬歴および子育てDX等の売上高が拡大したことにより1,260百万円（前年同期比24.6%増）となりました。営業利益については、増収効果と費用抑制効果により、112百万円（前年同期は172百万円の損失）と大幅増益となりました。

③ 学校DX事業

学校DX事業には、連結子会社のモチベーションワークス株式会社が学校法人向けに展開する学校DX事業が属しています。

売上高は、2023年4月からのクラウド型校務支援システム『BLEND』の導入学校数は566校（2022年4月比226校増）となり、月額利用料が増加したことにより260百万円（前年同期比67.5%増）となりました。営業損失については、売上高の大幅増加とともに、開発費の抑制効果による外注費の削減により、82百万円の損失（前年同期は246百万円の損失）と赤字額が縮小しました。

④ その他事業

その他事業には、BtoB型の連結子会社のAutomagi株式会社で展開するAI事業、当社における大手法人向けDX支援事業やソリューション事業等が属しています。

売上高は、法人向けDX支援事業の受注が拡大したことにより1,282百万円（前年同期比7.8%増）となりました。営業損失については、法人向けDX支援事業の赤字案件が収束したことによる売上原価の減少等により、87百万円の損失（前年同期は393百万円の損失）と赤字額が縮小しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の資産合計は27,937百万円となり、2023年9月末対比1,218百万円減少しました。

資産の部については、流動資産では現金及び預金の減少を主因に1,565百万円減少し、固定資産ではのれん、顧客関連資産が減少しましたが、投資有価証券が増加したことを主因に347百万円増加しました。

負債の部については、流動負債では主に未払法人税等および契約負債が減少したことを主因に1,109百万円減少し、固定負債では主に長期借入金が増加したことにより146百万円減少しました。

純資産の部については、配当金の支払いがありました。親会社株主に帰属する四半期純利益として630百万円を計上したことにより37百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績拡大の牽引役として期待できるヘルスケア事業のさらなる売上拡大および黒字化に注力するとともに、コンテンツ事業ではセキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数拡大やオリジナルコミック事業の拡大に取り組んでいきます。

また、当社子会社のモチベーションワークス株式会社にて積極展開する学校DX事業の拡大にも注力していきます。同社が提供するクラウド型校務支援システム『BLEND』に対する受注の引き合いが強くなり、2024年4月からの導入学校数の拡大に向けて鋭意対応中です。

中長期的に取り組んでいるヘルスケア事業は、将来の成長ポテンシャルが大きく、BtoC型に比べてお客様と長期間にわたり取引関係を構築することにより安定的なストック型ビジネスになり得るため、売上成長を実現できるよう様々な展開を実施してまいります。

特に調剤薬局での導入意欲が高いクラウド薬歴については、ヘルスケア事業の持続的な売上成長に寄与することから、協業先である株式会社メディパルホールディングスとの連携強化を行うことを通じて、導入店舗数をさらに拡大させてまいります。

また、母子手帳アプリ『母子モ』が導入されている自治体を中心に子育て関連サービスを拡充することにより、そして自治体、病院、住民のデジタル連携の実現を通じた子育てDX『母子モ』プラットフォーム戦略の推進を行うことにより、中期的に利益貢献できるように取り組んでまいります。

なお、2024年9月期 第2四半期累計期間および通期の連結業績予想は、本日発表した「第2四半期（累計）および通期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正しています。

【業績予想数値の前提】

当社グループにおける未確定な新規事業や蓋然性の低いM&Aの影響等は考慮しておらず、業績予想の数値に織り込んでいません。今後、見通しと業績予想との間に乖離が生じ、開示すべき事象が生じた場合には速やかに開示します。

**2024年9月期 第2四半期累計期間 連結業績予想
(2023年10月1日～2024年3月31日)**

	(百万円)	前年同期比 (%)
売上高	13,000	△4.6
営業利益	600	(前年同期は18百万円の損失)
経常利益	1,000	+434.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	700	(前年同期は326百万円の損失)

**2024年9月期 通期 連結業績予想
(2023年10月1日～2024年9月30日)**

	(百万円)	前期比 (%)
売上高	27,000	+0.8
営業利益	1,000	+235.1
経常利益	1,400	+205.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	800	+6.2

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,720,915	12,109,063
受取手形、売掛金及び契約資産	4,197,136	4,185,321
その他	1,056,294	1,115,390
貸倒引当金	△33,941	△34,732
流動資産合計	18,940,404	17,375,044
固定資産		
有形固定資産	213,711	203,983
無形固定資産		
ソフトウェア	1,894,135	1,917,427
のれん	240,012	190,746
顧客関連資産	491,400	386,100
その他	230,614	245,793
無形固定資産合計	2,856,162	2,740,067
投資その他の資産		
投資有価証券	4,081,380	4,444,745
敷金及び保証金	305,268	297,870
繰延税金資産	2,658,854	2,833,306
その他	110,361	52,951
貸倒引当金	△10,704	△10,704
投資その他の資産合計	7,145,160	7,618,169
固定資産合計	10,215,035	10,562,220
資産合計	29,155,439	27,937,264

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,023,077	1,012,862
1年内返済予定の長期借入金	747,600	744,030
未払金	1,279,759	1,323,120
未払法人税等	637,619	59,808
契約負債	2,567,914	2,327,717
賞与引当金	—	202,781
その他	1,074,790	551,260
流動負債合計	7,330,762	6,221,580
固定負債		
長期借入金	2,431,250	2,246,875
退職給付に係る負債	1,786,153	1,814,641
その他	23,449	32,508
固定負債合計	4,240,853	4,094,024
負債合計	11,571,615	10,315,605
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,232,677	5,232,677
資本剰余金	6,485,816	6,322,902
利益剰余金	5,143,458	5,333,475
自己株式	△3,230,813	△3,230,813
株主資本合計	13,631,139	13,658,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165,132	136,387
為替換算調整勘定	97,848	84,446
退職給付に係る調整累計額	59,594	57,959
その他の包括利益累計額合計	322,575	278,793
新株予約権	59,147	58,325
非支配株主持分	3,570,962	3,626,299
純資産合計	17,583,824	17,621,659
負債純資産合計	29,155,439	27,937,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2023年12月31日)
売上高	7,091,062	6,625,132
売上原価	2,538,631	1,788,321
売上総利益	4,552,430	4,836,810
販売費及び一般管理費	4,613,844	4,401,353
営業利益又は営業損失(△)	△61,414	435,457
営業外収益		
受取利息	19	17
為替差益	6,811	—
持分法による投資利益	—	409,440
その他	17,204	5,985
営業外収益合計	24,035	415,443
営業外費用		
支払利息	3,030	2,287
持分法による投資損失	34,190	—
その他の投資損失	—	48,395
その他	14,131	7,717
営業外費用合計	51,352	58,400
経常利益又は経常損失(△)	△88,730	792,500
特別損失		
固定資産除却損	743	8,049
投資有価証券売却損	13,450	—
投資有価証券評価損	—	17,337
特別損失合計	14,194	25,387
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△102,925	767,112
法人税、住民税及び事業税	510,494	275,818
法人税等調整額	34,384	△173,707
法人税等合計	544,879	102,110
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△647,804	665,001
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△57,587	34,522
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△590,217	630,479

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△647,804	665,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	257	△616
為替換算調整勘定	△32,517	△13,629
退職給付に係る調整額	674	△1,634
持分法適用会社に対する持分相当額	39,466	△27,901
その他の包括利益合計	7,880	△43,782
四半期包括利益	△639,923	621,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△582,336	586,697
非支配株主に係る四半期包括利益	△57,587	34,522

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	5,042,451	995,112	155,485	713,758	6,906,808	—	6,906,808
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	10,606	12,877	—	160,770	184,254	—	184,254
顧客との契約から生 じる収益	5,053,057	1,007,989	155,485	874,529	7,091,062	—	7,091,062
外部顧客への売上高	5,053,057	1,007,989	155,485	874,529	7,091,062	—	7,091,062
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65,412	3,366	—	315,556	384,335	△384,335	—
計	5,118,469	1,011,355	155,485	1,190,086	7,475,397	△384,335	7,091,062
セグメント利益 又は損失(△)	1,439,217	△172,968	△246,850	△393,372	626,025	△687,439	△61,414

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△687,439千円には、セグメント間取引消去△8,459千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△678,979千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っていません。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	4,159,302	1,247,476	238,068	865,994	6,510,841	—	6,510,841
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	14,545	10,350	22,442	66,952	114,290	—	114,290
顧客との契約から生 じる収益	4,173,847	1,257,826	260,511	932,947	6,625,132	—	6,625,132
外部顧客への売上高	4,173,847	1,257,826	260,511	932,947	6,625,132	—	6,625,132
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36,815	2,369	—	349,961	389,146	△389,146	—
計	4,210,663	1,260,196	260,511	1,282,908	7,014,279	△389,146	6,625,132
セグメント利益 又は損失(△)	1,091,942	112,860	△82,353	△87,318	1,035,131	△599,673	435,457

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△599,673千円には、セグメント間取引消去9,370千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△609,044千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。